



Samba インストールガイド v1.0

オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社
2007/02/23 初版

目次

1. Solaris10 用に提供する Samba パッケージ.....	3
1.1. Samba のみご利用の場合.....	3
1.2. Samba LDAP 連携の場合.....	3
2. パッケージのインストール.....	3
3. Samba の初期設定.....	4
4. Samba の起動スクリプト.....	4
5. 注意事項.....	4

1. Solaris10 用に提供する Samba パッケージ

1.1. Samba のみご利用の場合

弊社より下記パッケージを提供いたします。

SPARC 版 Solaris10 用には、下記ファイル名の「intel」の部分が「sparc」となります。

- osstech-db-sol10-intel-opt.gz
- osstech-krb5-sol10-intel-opt.gz
- osstech-libiconv-sol10-intel-opt.gz
- osstech-openldap-sol10-intel-opt.gz
- osstech-openssl-sol10-intel-opt.gz
- osstech-samba-sol10-intel-opt-20070214.gz
- osstech-sasl-sol10-intel-opt.gz

なお、osstech-samba パッケージについては、パッケージの修正などによるアップデートを行った場合に、ファイル名に含まれる日付が変更されますので、ご注意ください。

1.2. Samba LDAP 連携の場合

LDAP を利用する場合、上記 Samba パッケージに加えて、下記のパッケージもあわせて提供いたします。

SPARC 版 Solaris10 用には、下記ファイル名の「intel」の部分が「sparc」となります。

- osstech-smbldap-tools-sol10-intel-opt-20070213.gz
- osstech-perl-Authn-SASL-sol10-intel.gz
- osstech-perl-Convert-ASN1-sol10-intel.gz
- osstech-perl-Crypt-SmbHash-sol10-intel.gz
- osstech-perl-Digest-HMAC-sol10-intel.gz
- osstech-perl-Digest-SHA1-sol10-intel.gz
- osstech-perl-GSSAPI-sol10-intel.gz
- osstech-perl-IO-Socket-SSL-sol10-intel.gz
- osstech-perl-Jcode-sol10-intel.gz
- osstech-perl-Net-SSLeay-sol10-intel.gz
- osstech-perl-URI-sol10-intel.gz
- osstech-perl-Unicode-Map-sol10-intel.gz
- osstech-perl-Unicode-Map8-sol10-intel.gz
- osstech-perl-Unicode-MapUTF8-sol10-intel.gz
- osstech-perl-Unicode-String-sol10-intel.gz
- osstech-perl-XML-SAX-Base-sol10-intel.gz
- osstech-perl-ldap-sol10-intel.gz

2. パッケージのインストール

上記で提供するパッケージの多くは/opt/osstech 配下にモジュールをインストールします。従って、パッケージインストール前に、/opt ディレクトリに 500MB 以上の空き容量があることを確認してください。

各パッケージのインストールは、`pkgadd` コマンドを用いて行います。各バイナリは `gzip` により圧縮されていますので、`gzip` コマンドで解凍した後に、`pkgadd` コマンドでシステムにパッケージをインストールしてください。

```
# gzip -d osstech-samba-sol10-intel-opt-20070214.gz
# /usr/sbin/pkgadd -d osstech-samba-sol10-intel-opt-20070214
```

各パッケージをインストールする順番は自由ですが、上記で記載されているパッケージは全てインストールしてください。

3. Samba の初期設定

- samba の設定ファイルである `smb.conf` は、`/opt/osstech/etc/samba` ディレクトリに作成してください。
- 既存の samba 環境をひきつぐ場合には、samba のキャッシュファイル(`***.tdb`)を `/opt/osstech/var/lib/samba` ディレクトリにコピーしてください。
- samba のログファイルは、`/opt/osstech/var/log/samba` に作成されます。

4. Samba の起動スクリプト

`/etc/init.d` に `samba`、および `winbind` の起動スクリプトとして、`samba.osstech`、`winbind.osstech` を用意してあります。

`smbd`、`nmbd` を起動する場合は、
`# /etc/init.d/samba.osstech start`
を実行してください。

`smbd`、`nmbd` を停止する場合は、
`# /etc/init.d/samba.osstech stop`
を実行してください。

`winbindd` を起動する場合は、
`# /etc/init.d/winbind.osstech start`
を実行してください。

`winbindd` を停止する場合は、
`# /etc/init.d/winbind.osstech stop`
を実行してください。

5. コマンド、および各種ディレクトリの配置

- Samba のコマンド類(`pdbedit`、`net`、`nmblookup` など) : `/opt/osstech/bin`
- Samba のデーモン類(`smbd`、`nmbd`、`winbindd` など) : `/opt/osstech/sbin`
- Samba の VFS モジュール : `/opt/osstech/lib/samba`
- Samba の設定ファイル : `/opt/osstech/etc/samba`
- Samba のキャッシュファイル : `/opt/osstech/var/lib/samba`

6. 注意事項

弊社提供パッケージのアップデートに伴い、将来的に `samba`、および `smbldap-tools` のコンポーネントのインストール先が変更される可能性があります。

インストール先が変更された場合には、パッケージリリース時に合わせてお知らせいたします。